

琉球大学学術リポジトリ

沖縄県の高校生 の将来の進路意識と目的意識に関する調査研究（第 1報）

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学教職センター 公開日: 2020-04-07 キーワード (Ja): キーワード (En): Career Consciousness, Sense of Purpose, Career Education 作成者: 下地, 敏洋, 島袋, 恒男, 多和田, 実, 盛山, 泰秀, Shimoji, Toshihiro, Shimabukuro, Tsuneo, Tawada, Minoru, Moriyama, Yasuhide メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/45500

Senior High School Students' Career Consciousness and Sense of Purpose in Okinawa (1st Report)

Toshihiro SHIMOJI, Tsuneo SHIMABUKURO,
Minoru TAWADA, Yasuhide MORIYAMA

Abstract

Purpose of the Study: The main purpose of this study is to report the status quo based on the result of questionnaire survey related to the senior high school students' career consciousness and the sense of purpose in Okinawa.

Design and Methods: The authors carried out the questionnaire survey on high school students' career consciousness and the sense of purpose at 12 prefectural high schools in Okinawa. Respondents ($N=899$) completed the questionnaire and questions of each category were analyzed as descriptive data for this report. The descriptive data were compared with that conducted in 1998.

Results: The results show that the tendency of students' career consciousness and the sense of purpose are the almost same the result conducted in 1988. There are several differences between genders in some questions such as favorite subjects and type of jobs.

Implications: It is a good way for high school students to have more chances to talk about many topics such as future jobs with parents, teachers, and classmates to improve their motivation to understand the importance of academic works and their future career. Furthermore, the importance of career education focused on life-long education should be considered in high schools, especially for male students.

Key words: Career Consciousness, Sense of Purpose, Career Education

研究論文

沖縄県の高校生の将来の進路意識と目的意識に関する調査研究（第1報）

下地敏洋・島袋恒男・多和田実・盛山泰秀

1. はじめに

グローバル社会及び少子高齢化社会の進展に伴い、新学習指導要領の導入、大学入学共通テストの検討、小学校英語教育の必修化等、教育を取り巻く環境は急激かつ大きくに変化している。また、総合的な学習の時間の設定、キャリア教育及び国際理解教育の充実等をはじめ、アクティブ・ラーニングや知識構成型ジグソー法の授業作りの取り組み等、学校現場においては指導法も多様となっている。

また、進学先も国内の大学等にとどまらず、欧米をはじめ台湾など東南アジア地域へと選択肢の幅は確実に広がっている。文部科学省（2019年1月）の報道によると、日本人の留学生数は、2017年度に105,301人（対前年度比8,448人増）となっており、海外の大学等の教育機関で学ぶ生徒数は増加傾向にある。

なお、沖縄県教育庁（2017年）によると、沖縄県高校生の国公立大学合格者は、2015年度1,368名（1995年511名）で大学進学率も39.2%（2016年度）と上昇傾向にあるものの、全国比（54.7%：2016年度）では最下位の状況にある。大学等志願率は、48.1%（41位：全国61.0%）であるが、2016年度入試大学センター試験現役志願率は、28.7%（全国43.4%）で全国最下位にある。

実際に、高校入学時に生徒の半数以上が大学までの進学を希望しているにも関わらず、最終的な大学進学希望者は4%から5%程度減少し、高校まででよいとする回答が増える傾向がある。具体的には、高校までの希望者は10.5%から15.2%に増加、大学までを進学希望者は52.4%から48.0%に減少している。このことは、島袋と下地の調査（2017）でも同様の結果を得ており、高校教育までの希望者は1年生8.2%から3年生9.5%、大学までの進学希望者は70.0%から59.2%に減少している。

この背景として、経済的理由（66.1%）がある一方で、学力（66.1%）や意欲面（61.9%）に関する要因も明らかになっている。このように、学校生活及び家庭での学習状況は、将来の進路意識と目的意識の形成と高校生の進路決定に大きな影響要因となっていることが考えられる。高校教育充実のため、大学進学者数及び将来の職業選択の目的意識等の把握は必要である。

本研究では、前回の調査同様に、進路決定における高校生の「自律性・主体性」の育成を重視する立場から、①本県高校生の将来の職業選択の特徴と課題点、②将来の職業選択の理由としての「労働価値観」の特徴を明らかにする。また、③「進学希望水準」と現在の「学習時間」との関係から、高校生を目的への「願望型」（行動と目的が一致しない者）と「意志型」（行動と目的が一致する者）に分類し、その性差、両者の将来の職業選択の差異、その労働価値観の差異、そして高校生の進路意識や学習意識に影響を与えていると思われる「親」「教師」「友人」の「意味ある他者」となっている程度の差異を明らかにする。また、④現在の学業への関心・学業的目的の内面化の程度と社会的に承認、及び⑤将来への進路達成への関心、進路目的の内面化の程度と社会的承認、の差異について比較検討することにした。そして、⑥高校生の自己の「手段-目的関係」の理解を促し、高校生の「意志」「目的意識」の発達に関して教師、親はどう対応したら良いのかについても考察及び提案する。

本稿では、家庭学習の現状、将来の希望進学先等の学習行動の性差、希望職種及びその理由等について、アンケート調査結果を踏まえて性差の特徴、類似点、相違点等の概要について述べる。

なお、第2報において、将来の職業選択の特徴の性差、将来の職業選択としての3つの労働価値と性差、進学における「願望型」と「意志型」の性差及び将来の職業選択の特徴等について分析、考察、提言をおこなう。

2. 研究方法

(1) 研究協力者（表1を参照）

本調査は、平成10年度に実施された調査結果（沖縄県教育庁）と比較検討するため、国頭地区1校、中頭地区3校、那覇地区4校、島尻地区2校、宮古地区1校、八重山地区1校、計12校の高等学校に対し、令和元年7月1日～31日の期間に実施した。各学校とも2学年の2クラスを対象とした。協力者は920人、有効回答が899人で有効回答率97.8%であった。意図的な同一番号への回答、回答の判別が難しい回答等のある21人を欠損値とし、最終的に899人を対象に結果分析を実施した。

なお、本アンケート調査の文言等については、令和元年6月に学校長と教諭の3名に確認してもらった。

表1 研究協力者

性別	学校名	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	合計
男		28	43	32	23	41	23	34	46	42	32	39	34	417
%		6.71	10.31	7.67	5.52	9.83	5.52	8.15	11.03	10.08	7.67	9.35	8.15	46.38
女		51	37	40	48	35	51	44	31	36	43	34	32	482
%		10.58	7.68	8.30	9.96	7.26	10.58	9.13	6.43	7.47	8.92	7.05	6.64	53.62
小計		79	80	72	71	76	74	78	77	78	75	73	66	899
%		8.79	8.90	8.01	7.90	8.45	8.23	8.68	8.57	8.68	8.34	8.12	7.34	100.00

3. 結果と考察

(1) 学習行動の性差（表2を参照）

質問は、①「あなたは、ふだん学校から帰ってどれくらい勉強しますか」、②「あなたは、将来どこまで進学したいと思っていますか」、③「あなたのご両親は、あなたにどこまで進学しなさいと言っていますか」、④「あなたは『国語』の科目がどれくらい得意ですか」、⑤「あなたは『数学』の科目がどれくらい得意ですか」、の5項目であった。

普段の家庭学習時間は、「全然しない」が男子171人(41.20%)、女子160人(33.47%)、計331人(37.05%)で、「30分くらい」を合わせると計561人(62.72%)である。前回の調査は「全然しない」が男子649人(47.9%)、女子716人(46.1%)、計1365人(46.1%)で、今回の調査は「全然しない」が減少傾向にあった。今回の調査で、普段の家庭学習時間「1～2時間」は、男子29.29%、女子38.26%で、前回の調査ではそれぞれ28.5%、32.2%であり、大きな変化はみられない。

将来の進学希望先については、男子360人(86.54%)、女子383人(79.46%)、計743人(82.74%)が「大学」と回答している。前回の調査結果は、それぞれ823人(61.0%)、834人(51.9%)、計1,657人(56.1%)で、今回の調査結果は大学進学を希望する生徒が増加傾向にあることを示している。高校まで及び専門学校を希望する生徒は、今回は計100人(11.13%)で、前回38.5%から減少している。

保護者が生徒に希望する将来の進学先は、生徒の希望進学先とほぼ同様の傾向となっている。

国語の得意及び不得意に関しては、「少し得意」「得意」「とても得意」への回答は、男子206人(49.52%)、女子282人(58.63%)、計488人(54.40%)であった。一方、「とても苦手」と「苦手」の回答は、男子210人(50.48%)、女子199人(41.37%)、計409人(45.60%)であった。

表2 学習行動の性差

			1	2	3	4	5
1	家庭学習	男	171 41.20%	102 24.58%	96 23.13%	38 9.16%	8 1.93%
		女	160 33.47%	128 26.61%	131 27.03%	54 11.23%	8 1.66%
		計	331 37.05%	230 25.67%	228 25.22%	91 10.27%	16 1.79%
2	将来・進学	男	6 1.44%	22 5.29%	360 86.54%	28 6.73%	
		女	9 1.87%	63 13.07%	383 79.46%	27 5.60%	
		計	15 1.67%	85 9.47%	743 82.74%	55 6.12%	
3	両親・進学	男	32 7.92%	17 4.21%	347 85.89%	8 1.98%	
		女	37 7.86%	45 9.55%	381 80.89%	8 1.70%	
		計	69 7.89%	62 7.09%	728 83.20%	16 1.83%	
4	国語	男	42 10.10%	168 40.38%	164 39.42%	36 8.65%	6 1.44%
		女	32 6.65%	167 34.72%	208 43.24%	67 13.93%	7 1.46%
		計	74 8.25%	335 37.35%	372 41.47%	103 11.48%	13 1.45%
5	数学	男	57 13.70%	114 27.40%	145 34.86%	83 19.95%	17 4.09%
		女	114 23.65%	190 39.42%	128 26.56%	44 9.13%	6 1.24%
		計	171 19.04%	304 33.85%	273 30.40%	127 14.14%	23 2.56%

女子の方が男子よりも「少し得意」「得意」「とても得意」と回答する割合が高く、性差がみられた。

一方、数学の得意及び不得意に関しては、「少し得意」「得意」「とても得意」の回答は、男子245人（59.9%）、女子178人（36.93%）、計387人（47.11%）であった。一方、「とても苦手」と「苦手」の回答は、男子171人（40.1%）、女子304人（63.07%）、計475人（52.89%）である。男子の方が女子よりも「少し得意」「得意」「とても得意」と回答する割合が高く、性差がみられた。

（2）希望する職業の性差（表3を参照）

質問は、「下記の職業群の中から、2つ選んでその番号を【 】の中に記入してください。その他を選んだ人は（ ）の中にその職名を書いてください」であった。

文中の数字は第1希望と第2希望の合計平均で、1番目に多い希望職種は「地方公務員」の14.0%（男子14.9%、女子12.5%）、割合は男子124人（51.0%）、女子119人（49.0%）である。前回の調査では、男子57.9%、女子40.1%であり、女子の「地方公務員」希望者が増加傾向にあると考えられる。全希望職種の中で、「地方公務員」希望者は、今回14.0%で前回の6.3%から地方公務員志向が高まっている。

2番目に多い希望職種は、「小・中・高校教員」11.0%（男子9.7%、女子12.5%）、男女の割合は男子81人（40.9%）、女子117人（59.1%）で、前回調査の男子39.6%、女子の60.4%とほぼ同様の結果となっている。全希望職種では、「小・中・高校教員」の希望者は、今回は11.0%で、前回の12.5%と比べて、若干減少傾向にあると考えられる。

3番目に多い希望職種は、「看護師・臨床検査技師」が9.9%（男子4.3%、女子14.8%）で、男女の割合は男子20.2%、女子79.8%で、前回調査の男子20.2%、女子79.8%と同様である。

全希望職種で、「看護師・臨床検査技師」の希望者は、今回が9.9%で、前回の5.8%から増加傾向にある。

表3 希望する職業の性差

番号	キーワード		1		2		番号	キーワード		1		2	
1	会社員 ビジネスマン	男	33	6.9%	43	10.3%	14	不動産	男	1	0.2%	5	1.2%
		女	17	3.5%	32	6.6%			女	0	0.0%	3	0.6%
		計	50	5.6%	75	8.3%			計	1	0.1%	8	0.9%
2	国家公務員	男	48	11.5%	45	10.8%	15	司法書士 税理士	男	7	1.7%	8	1.9%
		女	32	6.6%	30	6.2%			女	9	1.9%	13	2.7%
		計	80	8.9%	75	8.3%			計	16	1.8%	21	2.3%
3	地方公務員	男	54	12.9%	70	16.8%	16	旅行業	男	6	1.4%	6	1.4%
		女	43	8.9%	76	15.8%			女	0	0.0%	24	5.0%
		計	97	10.9%	146	16.2%			計	6	0.7%	30	3.3%
4	店員 販売員	男	0	0.0%	5	1.2%	17	自営業	男	5	1.2%	16	3.8%
		女	2	0.4%	7	1.5%			女	3	0.6%	7	1.5%
		計	2	0.2%	12	1.3%			計	8	0.9%	23	2.6%
5	保母 幼稚園	男	2	0.5%	12	2.9%	18	大工 職人	男	9	2.2%	13	3.1%
		女	25	5.2%	51	10.6%			女	2	0.4%	4	0.8%
		計	27	3.0%	63	7.0%			計	11	1.2%	17	1.9%
6	小・中・高	男	47	11.3%	34	8.2%	19	芸術家	男	5	1.2%	10	2.4%
		女	64	13.3%	53	11.0%			女	10	2.1%	9	1.9%
		計	111	12.3%	87	9.7%			計	15	1.7%	19	2.1%
7	大学 研究者	男	17	4.1%	18	4.3%	20	歌手	男	5	1.2%	5	1.2%
		女	5	1.0%	7	1.5%			女	6	1.2%	7	1.5%
		計	22	2.4%	25	2.8%			計	11	1.2%	12	1.3%
8	弁護士 医師	男	14	3.4%	7	1.7%	21	スポーツ	男	9	2.2%	8	1.9%
		女	13	2.7%	12	2.5%			女	0	0.0%	1	0.2%
		計	27	3.0%	19	2.1%			計	9	1.0%	9	1.0%
9	設計士 技術者	男	21	5.0%	12	2.9%	22	調理師 理容師	男	5	1.2%	8	1.9%
		女	3	0.6%	4	0.8%			女	4	0.8%	21	4.4%
		計	24	2.7%	16	1.8%			計	9	1.0%	29	3.2%
10	パイロット アテンダント	男	3	0.7%	5	1.2%	23	看護師 検査技師	男	27	6.5%	9	2.2%
		女	13	2.7%	7	1.5%			女	112	23.2%	30	6.2%
		計	16	1.8%	12	1.3%			計	139	15.5%	39	4.3%
11	運転手	男	1	0.2%	1	0.2%	24	警察官 消防士	男	17	4.1%	14	3.4%
		女	0	0.0%	0	0.0%			女	5	1.0%	9	1.9%
		計	1	0.1%	1	0.1%			計	22	2.4%	23	2.6%
12	新聞記者	男	6	1.4%	2	0.5%	25	農業 漁業	男	4	1.0%	7	1.7%
		女	3	0.6%	5	1.0%			女	1	0.2%	3	0.6%
		計	9	1.0%	7	0.8%			計	5	0.6%	10	1.1%
13	コンピュータ	男	36	8.6%	27	6.5%	26	その他	男	31	7.4%	11	2.6%
		女	4	0.8%	7	1.5%			女	79	16.4%	37	7.7%
		計	40	4.4%	34	3.8%			計	110	12.2%	48	5.3%

4番目に多い希望職種は、「国家公務員」の8.6%（男子11.2%、女子6.5%）である。男女の割合は男子60.0%、女子40.0%で、前回調査の男子59.9%、女子40.1%でほぼ同様である。全希望職種で、「国家公務員」の希望者は、今回8.6%で、前回調査の8.4%と大きな増減はみられない。

5番目に多い希望職種は、「会社員・ビジネスマン」の7.0%（男子9.1%、女子5.1%）である。男女の割合は男子60.8%、女子39.2%であり、前回調査の男子67.0%、女子32.9%と比べて、男子が減少、女子が増加傾向にあると考えられる。全希望職種で、「国家公務員」の希望者は、今回7.0%で、前回の3.3%から増加傾向にあると考えられる。

その他の回答は、17.6%（男子10.1%、女子24.1%）であった。主な内訳は、「管理栄養士」13名（男子1名、女子12名）、「スポーツインストラクター等スポーツ関係」8名（男子3名、女子5名）、「理学療法士」7名（男子2名、女子5名）等であった。

性差がみられる希望職業は、「会社員・ビジネスマン」7.0%（男子9.1%、女子5.1%）、「国家公務員」8.6%（男子11.2%、女子6.5%）、「保母・幼稚園教諭」5.0%（男子1.7%、女子7.9%）、「コ

ンピュータ関係」4.1%（男子7.5%，女子1.2%），「看護師・検査技師」9.9%（男子4.3%，女子14.8%）であった。

以上のことから、高校生が将来希望する職業は、今回と前回の結果からほぼ同様と考えられ、最近20年間で大きな変化はないと考えられる。島袋ら（1998）が指摘するように、職業の安定度、収入の良さ、労働環境の良さ等労働価値の外面性が重視されて、将来の職業を希望していることが推測される。

（3）職業希望理由の性差（巻末：表4を参照）

質問は35項目で、「不景気でも『失業のない仕事』」「収入の多い仕事」「人から尊敬できる仕事」等であった。選択肢は、「とても重視する」、「重視する」、「少し重視する」、「重視しない」、「全く重視しない」の5件法であった。

「とても重視する」「重視する」「少し重視する」を選択した項目が多いものは、①「上役や先輩が思いやりのある人であること」97.2%（男子96.9%，女子97.5%），②「上司が自分を公平に扱ってくれる職場であること」97.0%（男子97.4%，女子96.7%），③「休日・休暇がきちんと取れる仕事であること」97.0%（男子97.8%，女子96.5%），④「仕事自体が長続きすること」97.0%（男子96.6%，女子97.3%），⑤「自分の性格・興味を生かせる仕事であること」96.9%（男子96.9%，女子96.9%），⑥「収入の多い仕事であること」96.0%（男子95.9%，女子96.1%），⑦「職場が明るく、清潔であること」95.8%（男子95.2%，女子96.3%），⑧「職場が快適で広いこと」93.9%（男子92.3%，女子95.2%），⑨「自分の良心に反することはしないで済む仕事であること」93.9%（男子92.8%，女子94.4%），⑩「不景気の時でも失業のない仕事であること」93.1%（男子90.6%，女子95.2%），⑪「自分の能力（知識・技術・技能）の向上に役立つ仕事であること」92.3%（男子91.4%，女子93.4%），⑫「自分の道徳性に反することはしないで済む仕事であること」91.4%（男子90.8%，女子91.9%），⑬「社会のためにいろいろ献身できる仕事であること」90.4%（男子88.0%，女子92.5%），⑭「自分の能力（知識・技能・技術）をいろいろ試すことができること」90.3%（男子91.6%，女子89.2%）の順であった。

職業選択の理由として、上司からの思いやり、公平に扱ってもらうこと、休日・休暇の取得が取りやすい等が上位であることから、職場環境を重視していることが窺える。一方で、仕事のやり方や自己の成長を重視することはあまり選択されていない傾向があることも理解できる。

「全く重視しない」と「重視しない」を選択した項目で多いものは、①「芸術的で美的なものを作る仕事」68.6%（男子68.9%，女子69.2%），②「自分の計画で『他人の働き方を決める』」64.6%（男子56.8%，女子70.9%），③「物事の因果関係を研究できる仕事」57.2%（男子50.4%，女子63.1%）の順であった。

性差のみられる職業の希望理由は、「とても重視する」「重視する」「少し重視する」の選択肢は、「他人の上に立って指図し、監督できる仕事であること」51.8%（男子58.8%，女子45.9%），②「仕事の内容にいろいろ変化があること」59.0%（男子63.1%，女子55.4%），③「上司や他人から、細かい指図を受けない仕事であること」49.0%（男子53.5%，女子45.2%），④「物事を調査したり、研究できる仕事であること」51.6%（男子59.2%，女子44.8%），⑤「機械や書類よりも人間相手が主となる仕事であること」71.4%（男子65.5%，女子76.9%），⑥「仕事のペースを自分で自由に決める仕事であること」78.1%（男子82.3%，女子74.5%）であった。

また、「全く重視しない」と「重視しない」の選択肢では、①「物事の因果関係を研究できる仕事であること」57.2%（男子50.4%，女子63.1%），②「自分の計画で他人の働き方を決める仕事であること」64.6%（男子56.8%，女子70.9%）であった。

男子は、組織の中で到達目標や仕事内容が明確な仕事を重視する傾向が見られる。一方、女子

はコミュニケーションや人間関係を重視し、より柔軟性がある仕事を希望する傾向が見られる。

（4）学校生活・家庭学習の性差（巻末：表5を参照）

質問は18項目で、「お父さん(お母さん)から、自分の将来のためになる話がいろいろ聞ける」「先生から注意されたり、忠告されたりすると、気分的に落ち込んでしまう」等であった。選択肢は、「あてはまらない」、「少しあてはまる」、「あてはまる」、「とてもあてはまる」の4件法であった。

「とてもあてはまる」「あてはまる」を選択した項目で多いものは、①「先生の言うことなら、たいがいのことは、素直に聞くことができる」90.1%（男子85.6%、女子94.0%）、②「先生から、勉強のために話をするいろいろな話をいろいろ聞くことができる」85.7%（男子85.9%、女子85.5%）、③「たいがいのことなら素直に忠告を聞ける親友が、私にいます」74.3%（男子78.6%、女子70.5%）、④「友人の深い考えや視野の広さに感動することがよくある」72.4%（男子72.4%、女子72.3%）、⑤「将来の進学や職場のことについて、いろいろ話し合える友人がいる」71.8%（男子73.0%、女子70.5%）、であった。

「あてはまらない」「少しあてはまる」を選択した項目で多いものは、①「私はよく、先生にいろいろな悩みごとや困ったことを相談している」79.5%（男子77.7%、女子81.1%）、②「お父さん(お母さん)に私はよく悩みを相談している」68.9%（男子71.5%、女子66.6%）、③「お父さん(お母さん)から、注意・忠告され、叱られても別にどうってことはない」64.6%（男子59.2%、女子69.1%）、④「友達に自分の行いを注意されたり、忠告されると反発したくなる」57.4%（男子59.2%、女子55.8%）であった。

「とてもあてはまる」「あてはまる」で性差の大きい項目は、①「先生の言うことなら、たいがいのことは、素直に聞くことができる」90.1%（男子85.6%、94.0%）、②「たいがいのことなら素直に忠告を聞ける親友が、私にいます」74.3%（男子78.6%、女子70.5%）、③「先生の男らしい(女らしい)ふるまいや行動を見て、自分もそうなりたいたいと思うことがある」58.4%（男子54.0%、女子62.9%）、④「お父さん(お母さん)の言うことならたいがいの事は、素直に従うことができる」56.9%（男子53.7%、女子59.7%）、⑤「よく友達と、世の中のことや将来のことをいろいろ話し合っているほうだ」54.6%（男子49.2%、女子59.3%）」、であった。

「あてはまらない」「少しあてはまる」で性差の小さい項目は、①「私はよく、先生にいろいろな悩みごとや困ったことを相談している」79.5%（男子77.7%、女子81.1%）、②「お父さん(お母さん)に、私は、よく悩みを相談している」69.9%（男子71.5%、女子66.6%）、③「お父さん(お母さん)から、注意・忠告され、叱られても別にどうってことはない」64.6%（男子59.2%、女子69.1%）であった。

女子は男子と比較し、先生や親の話を聞き、かつ話し合い、社会問題等への興味関心が高まっていると考えられる。

（5）勉強・進学・就職の性差（巻末：表6を参照）

質問は30項目で、選択肢は、「全然そう思わない」、「そう思わない」、「そう思う」、「とてもそう思う」の4件法であった。

「とてもそう思う」「そう思う」を選択した項目で多いものは、①「将来、困った時でもあきらめず「努力できる人間」になれたらと思う」96.2%（男子94.7%、女子95.6%）、②「もし、今テストで、いい点が取れたらとてもうれしいと思う」95.0%（男子92.8%、女子96.9%）、③「希望通りの進学ができれば、きっと大きな自信につながると思う」94.8%（男子94.2%、女子95.2%）、④「もし、今勉強でもっとがんばれたらとても満足できると思う」93.8%（男子90.6%、女子96.5%）、⑤「将来希望通りの職業に就ければ、一生懸命頑張ると思う」92.8%（男

子 91.8%、女子 93.6%）、⑥「自分の力を十分に発揮できる能力の高い人に将来是非なりたいたいと思う」91.5%（男子 90.4%、女子 92.5%）、⑦「自分の好きな職業に就くにはどうすればよいかとても興味がある」90.9%（男子 87.2%、女子 94.2%）、⑧「将来能力を高めそれを仕事で発揮できれば、こんなにすばらしいことはないと思う」90.2%（男子 89.9%、女子 90.5%）、であった。

「全然そう思わない」「そう思わない」を選択した項目で多いものは、①「私は、今自分の将来の進路のことを全然気にしていない」88.7%（男子 83.2%、女子 93.4%）、②「私は、今成績があがることに特に興味はない」80.7%（男子 72.4%、女子 87.9%）、③「私が、テストでいい点を取ったとしても、両親や先生は特にほめてくれることはしないと思う」68.6%（男子 60.0%、女子 76.1%）、④「私は、今授業を熱心に聞くことにほとんど注意を払っていない」67.1%（男子 63.5%、女子 70.3%）、であった。

「とてもそう思う」「そう思う」の選択肢で性差の大きい項目は、①「もし、今勉強でもっとがんばれたらとても満足できると思う」93.8%（男子 90.6%、女子 96.5%）、②「自分の好きな職業に就くにはどうすればよいかとても興味がある」90.9%（男子 87.2%、女子 94.2%）、③「もし、思うように成績が上がれば嬉しくてもっともっとやる気になるだろう」88.4%（男子 84.9%、女子 91.5%）、④「希望通りの進学』ができるかどうかいつも気にしている」81.6%（男子 76.3%、女子 86.3%）、⑤「もし、私が『勉強でがんばっても、両親や先生はそれをちゃんと評価してくれると思う』81.1%（男子 75.1%、女子 86.3%）、⑥「もし、成績が上がれば両親や先生はいっしょになって喜んでくれるだろう」81.0%（男子 75.9%、女子 85.4%）、⑦「もし、授業を熱心に聞けばもっと勉強が面白くなっていくだろう」78.3%（男子 75.1%、女子 81.1%）、⑧「将来能力の高い人間になることを、両親も強く望んでいると思う」75.6%（男子 78.6%、女子 72.8%）であった。

「全然そう思わない」「そう思わない」の選択肢で性差の大きい項目は、①「私は、今自分の将来の進路のことを全然気にしていない」88.7%（男子 83.2%、女子 93.4%）、②「私は、今成績があがることに特に興味はない」80.7%（男子 72.4%、女子 87.9%）、③「私が、テストでいい点を取ったとしても、両親や先生は特にほめてくれることはしないと思う」68.6%（男子 60.0%、女子 76.1%）、④「私は、今授業を熱心に聞くことにほとんど注意を払っていない」67.1%（男子 63.5%、女子 70.3%）、であった。

女子は男子と比較して、自己理解が深まり、自分に対する周りからの期待についても把握し、より具体的に行動していることが考えられる。

4. まとめ

本県の高校生は、家庭学習が定着していないという結果であるが、学校での放課後講座及び図書館での学習並びに学習塾等での学習状況を把握する必要がある。現状においては、大学進学を希望する割に、家庭学習時間が確保できていないように考えられる。このことは、保護者の意識改革も必要であると考えられる。キャリア教育を通して、学校での教育が将来にどのような影響をもたらすのかについても検討する必要がある。

本県の高校生の将来の職業選択の特徴として、具体的な「職種」を選ぶよりも、公務員や会社員という漠然とした職業を希望する傾向がみられる。漠然とした職業選択の背景には、「仕事の外面性」という労働価値を重視する傾向がある。そのことを、逆説的に言えば、職業的選択が未熟と言うことでもあり、キャリア教育等を通して、働くことの価値や意味を学ぶことも大切である。

島袋ら（1998）が指摘するように、大学等を希望する割に家庭学習が不足しており、計画性が弱いなど「願望型」の生徒が「意志型」の生徒よりも多いと考えられる。このことは、第2報

以降でデータを根拠に明らかにしていきたい。「意志型」が多い生徒は、進学実績のある進学校や離島の1校で明確となっている。

島袋と下地ら（2018）らは、学校生活や家庭での勉強に関する性差の特徴として、男子と比較して、女子の方が「毎日学校に行くのが楽しい」、「学校に行くことは私の将来に役立つ」、「この学校は、私にとって良い影響を与えている」に回答する割合が高く、学校生活及び家庭生活に適応している割合も高くなっているものと推測できる。

沖縄県高等学校の教育においては、学習指導の工夫改善、社会意識の高揚、自己肯定感の涵養のため、親と教師と生徒とのトライアングルコミュニケーションの涵養や討論の機会を増加させることで、自ら学習できる力を育成し、将来を見据えた教育の実践を具体化する教育の実践が求められている。

石田浩ら（2017）が、無業者の多くが新規学卒「失業者」ではなく、就職活動も進学準備も十分におこなわないまま卒業を迎えてしまった「進路未定者」であるという事実であった、と述べている。このこと踏まえ、生徒の将来を見据えて、教員、保護者、行政がしっかりと連携・協力を強化していくことが大切であると考えられる。

また、ヘレン・ピアソン（2017）は、子どもの成功に関して言えば、関心があって意欲的な親と学校は最強の組み合わせ、健康で仕事がありかつ離婚のない両親と一緒に家庭の問題も少ない家庭も重要であり、地域環境も重要である、と述べている。このことから、家庭や学校だけではなく、行政機関や地域との連携協力や相互理解も必要である。一方で、ヘレン・ピアソン（2017）は、達成者がほかの人たちとちがう重要な点として、自己コントロールやモチベーションの高さであり、現在の環境よりもより良い環境へと意欲がある、と述べている。このことは、真実をとらえており、家庭や学校での学びは、将来の人生設計に大きく影響することでもあるため、将来の職業観と人生観を育成することも大切である。

[引用文献]

沖縄県教育庁、1998、進路指導

沖縄県教育庁、2017、人材育成に係る専門委員会合—小中高の現状、課題—

沖縄県立那覇商業高等学校、1997、平成8年度文部省・沖縄県教育委員会指定グループ研究報告書：沖縄県の高校生の価値観と興味関心に関する調査研究

島袋恒男、2007、高校生の意志型・願望型の意味ある他者と進路発達に関する研究、琉球大学教育学部研究紀要（70）、55－68

島袋恒男、下地敏洋、多和田実、2018、沖縄県の高校生の価値観と興味関心に関する調査研究（第3報）—学校生活と家庭学習の適応について、琉球大学教育学部教育実践総合センター紀要（25）、115－127

下地敏洋、島袋恒男、2018、沖縄県の高校生の価値観と興味関心に関する調査研究（第1報）、琉球大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）紀要（2）、47－65

下地敏洋、島袋恒男、2018、沖縄県の高校生の価値観と興味関心に関する調査研究（第2報）、琉球大学教育学部紀要（92）、359－377

下地敏洋、島袋恒男、2019、沖縄県の高校生の価値観と興味関心に関する調査研究（第4報）—自己観と価値観及び興味・関心の相関について、琉球大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）紀要（3）、31－43

表5 学校生活・家庭学習の性差

		1		2		3		4		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
1	将来の話	男	44	10.55%	162	38.85%	133	31.89%	78	18.71%
		女	45	9.34%	150	31.12%	155	32.16%	132	27.39%
		計	89	9.90%	312	34.71%	288	32.04%	210	23.36%
2	落ち込む	男	81	9.83%	162	38.85%	116	27.82%	58	13.91%
		女	70	14.52%	171	35.48%	132	27.39%	109	22.61%
		計	151	16.80%	333	37.04%	248	27.59%	167	18.58%
3	振る舞い行動	男	107	25.66%	150	35.97%	118	28.30%	42	10.07%
		女	83	17.22%	138	28.63%	142	29.46%	119	24.69%
		計	190	21.13%	288	32.04%	260	28.92%	161	17.91%
4	忠告・友人	男	19	4.57%	89	21.39%	188	45.19%	120	28.85%
		女	14	2.90%	85	17.63%	193	40.04%	190	39.42%
		計	33	3.67%	174	19.38%	381	42.43%	310	34.52%
5	先生・考え方	男	21	5.04%	116	27.82%	203	48.68%	77	18.47%
		女	22	4.56%	128	26.56%	224	46.47%	108	22.41%
		計	43	4.78%	244	27.14%	427	47.50%	185	20.58%
6	素直に従う	男	36	8.67%	172	41.45%	155	37.35%	52	12.53%
		女	37	7.74%	154	32.22%	219	45.82%	68	14.23%
		計	73	8.17%	326	36.51%	374	41.88%	120	13.44%
7	悩み相談	男	178	42.69%	142	34.05%	67	16.07%	30	7.19%
		女	112	23.24%	131	27.18%	121	25.10%	118	24.48%
		計	290	32.26%	273	30.37%	188	20.91%	148	16.46%
8	世の中・将来	男	60	14.39%	144	34.53%	137	32.85%	76	18.23%
		女	28	5.83%	113	23.54%	187	38.96%	152	31.67%
		計	88	9.81%	257	28.65%	324	36.12%	228	25.42%
9	悩み相談	男	218	52.40%	123	29.57%	57	13.70%	18	4.33%
		女	219	45.53%	176	36.59%	58	12.06%	28	5.82%
		計	437	48.72%	299	33.33%	115	12.82%	46	5.13%
10	世の中・大事	男	59	14.18%	151	36.30%	137	32.93%	69	16.59%
		女	53	11.04%	166	34.58%	167	34.79%	94	19.58%
		計	112	12.50%	317	35.38%	304	33.93%	163	18.19%
11	注意・忠告	男	76	18.36%	191	46.14%	110	26.57%	37	8.94%
		女	123	25.52%	211	43.78%	101	20.95%	47	9.75%
		計	199	22.21%	402	44.87%	211	23.55%	84	9.38%
12	男女らしい	男	95	22.84%	159	38.22%	117	28.13%	45	10.87%
		女	77	16.01%	167	34.72%	157	32.64%	80	16.63%
		計	172	19.18%	326	36.34%	274	30.55%	125	13.94%
13	素直に聞く	男	29	6.95%	134	32.13%	189	45.32%	65	15.59%
		女	26	5.39%	112	23.24%	242	50.21%	102	21.16%
		計	55	6.12%	246	27.36%	431	47.94%	167	18.58%
14	勉強・話	男	33	7.91%	109	26.14%	192	46.04%	83	19.90%
		女	22	4.56%	109	22.61%	219	45.44%	132	27.39%
		計	55	6.12%	218	24.25%	411	45.72%	215	23.92%
15	話・友人	男	25	6.02%	107	25.78%	171	41.20%	112	26.99%
		女	14	2.90%	62	12.86%	194	40.25%	212	43.98%
		計	39	4.35%	169	18.84%	365	40.69%	324	36.12%
16	視野の広さ	男	38	9.11%	113	27.10%	152	36.45%	114	27.34%
		女	21	4.36%	84	17.43%	169	35.06%	208	43.15%
		計	59	6.56%	197	21.96%	321	35.79%	322	35.90%
17	アドバイス	男	31	7.43%	140	33.57%	161	38.61%	85	20.38%
		女	22	4.56%	77	15.98%	184	38.17%	199	41.29%
		計	53	5.90%	217	43.27%	345	38.38%	284	4.67%
18	忠告・反発	男	133	31.89%	200	47.96%	56	13.43%	28	6.71%
		女	216	44.81%	189	39.21%	63	13.07%	14	2.90%
		計	349	38.82%	389	43.27%	119	13.24%	42	4.67%

表6 勉強・進学・就職の性差

			1		2		3		4	
1	テストで良い点	男	18	4.33%	64	15.38%	205	49.28%	129	31.01%
		女	11	2.28%	72	14.94%	227	47.10%	172	35.68%
		計	29	3.23%	136	15.14%	432	48.11%	301	33.52%
2	両親や先生からアドバイス	男	18	4.32%	53	12.71%	252	60.43%	94	22.54%
		女	13	2.70%	58	12.03%	250	51.87%	161	33.40%
		計	31	3.45%	111	12.35%	502	55.84%	255	28.36%
3	先生が頑張りを認知	男	16	3.85%	95	22.84%	219	52.52%	86	20.62%
		女	12	2.49%	96	19.92%	239	49.59%	135	28.01%
		計	28	3.12%	191	21.27%	458	51.00%	221	24.61%
4	現況で頑張る	男	11	2.64%	109	26.14%	222	53.24%	75	17.99%
		女	20	4.15%	100	20.75%	260	53.94%	102	21.16%
		計	31	3.45%	209	23.25%	482	53.62%	177	19.69%
5	進路を全然気にしない	男	171	41.01%	176	42.21%	53	12.71%	17	4.08%
		女	316	65.56%	134	27.80%	21	4.36%	11	2.28%
		計	487	54.17%	310	34.48%	74	8.23%	28	3.11%
6	希望通りの進学	男	14	3.36%	85	20.38%	193	46.28%	125	29.98%
		女	9	1.88%	57	11.88%	212	44.17%	202	42.08%
		計	23	2.56%	142	15.83%	405	45.15%	327	36.45%
7	良い点・嬉しい	男	6	1.44%	24	5.76%	131	31.41%	256	61.39%
		女	3	0.62%	12	2.49%	84	17.43%	383	79.46%
		計	9	1.00%	36	4.00%	215	23.92%	639	71.08%
8	努力できる人間	男	2	0.48%	20	4.80%	151	36.21%	244	58.51%
		女	5	1.04%	7	1.45%	104	21.58%	366	75.93%
		計	7	0.78%	27	3.00%	255	28.36%	610	67.85%
9	勉強で頑張る満足	男	3	0.72%	36	8.63%	166	39.81%	212	50.84%
		女	4	0.83%	13	2.70%	118	24.48%	347	71.99%
		計	7	0.78%	49	5.45%	284	31.59%	559	62.18%
10	進路明確	男	4	0.96%	55	13.25%	169	40.72%	187	45.06%
		女	12	2.49%	44	9.13%	146	30.29%	280	58.09%
		計	16	1.78%	99	11.04%	315	35.12%	467	52.06%
11	成績上昇	男	7	1.68%	56	13.43%	149	35.73%	205	49.16%
		女	10	2.08%	31	6.46%	113	23.54%	326	67.92%
		計	17	1.90%	87	9.70%	262	29.21%	531	59.20%
12	授業を熱心	男	65	15.59%	200	47.96%	119	28.54%	33	7.91%
		女	106	21.99%	233	48.34%	117	24.27%	26	5.39%
		計	171	19.02%	433	48.05%	236	26.25%	59	6.67%
13	両親や先生はほめない	男	77	18.55%	172	41.45%	116	27.95%	50	12.05%
		女	174	36.10%	193	40.04%	72	14.94%	43	8.92%
		計	251	27.98%	365	40.58%	188	21.07%	93	10.37%
14	両親や先生は評価	男	34	8.46%	66	16.42%	190	47.26%	112	27.86%
		女	19	4.02%	46	9.73%	218	46.09%	190	40.17%
		計	53	6.06%	112	12.80%	408	46.63%	302	34.51%
15	成績に関心ない	男	151	36.21%	151	36.21%	85	20.38%	30	7.19%
		女	258	53.64%	165	34.30%	40	8.32%	18	3.74%
		計	409	45.55%	316	35.19%	125	13.92%	48	5.35%
16	社会的活躍	男	17	4.10%	72	17.35%	215	51.56%	111	26.75%
		女	9	1.88%	84	17.50%	220	45.83%	167	34.79%
		計	26	2.91%	156	17.43%	435	48.60%	278	31.06%
17	両親や先生と一緒に喜ぶ	男	19	4.58%	81	19.52%	211	50.84%	104	25.06%
		女	13	2.72%	57	11.92%	218	45.61%	190	39.75%
		計	32	3.58%	138	15.45%	429	48.04%	294	32.92%
18	授業を熱心に聞く	男	17	4.08%	87	20.86%	191	45.80%	122	29.26%
		女	17	3.53%	74	15.38%	198	41.16%	192	39.92%
		計	34	3.79%	161	17.93%	389	43.32%	314	34.97%
19	努力で充実した人生	男	4	0.96%	29	6.95%	188	45.08%	196	47.00%
		女	3	0.6%	17	3.53%	174	36.10%	288	59.75%
		計	7	0.78%	46	5.12%	362	40.27%	484	53.84%
20	能力の高い人	男	7	1.68%	33	7.93%	173	41.59%	203	48.80%
		女	7	1.45%	29	6.02%	167	34.65%	279	57.88%
		計	14	1.56%	62	6.90%	340	37.86%	482	53.67%
21	希望通りの職業	男	21	5.06%	102	24.58%	179	43.13%	113	27.23%
		女	17	3.54%	139	28.96%	186	38.75%	138	28.75%
		計	38	4.25%	241	26.96%	365	40.83%	251	28.08%
22	好きな職業	男	8	1.92%	46	11.03%	192	46.04%	171	41.01%
		女	6	1.24%	22	4.56%	188	39.00%	266	55.19%
		計	14	1.56%	68	7.56%	380	42.27%	437	48.61%
23	活躍できる	男	12	2.88%	81	19.42%	182	43.65%	142	34.05%
		女	14	2.90%	83	17.22%	182	37.76%	203	42.12%
		計	26	2.89%	164	18.24%	364	40.49%	345	38.38%
24	能力を高める	男	6	1.44%	36	8.63%	199	47.72%	176	42.21%
		女	5	1.04%	41	8.51%	187	38.80%	249	51.66%
		計	11	1.22%	77	8.57%	386	42.94%	425	47.27%
25	希望通りの進学	男	4	0.96%	20	4.81%	176	42.31%	216	51.92%
		女	3	0.62%	20	4.15%	143	29.67%	316	65.56%
		計	7	0.78%	40	4.45%	319	35.52%	532	59.24%
26	一生懸命頑張る	男	6	1.45%	28	6.75%	193	46.51%	188	45.30%
		女	4	0.83%	27	5.60%	165	34.23%	286	59.34%
		計	10	1.11%	55	6.13%	358	39.91%	474	52.84%
27	能力の高い人間と両親	男	14	3.37%	75	18.03%	200	48.08%	127	30.53%
		女	21	4.36%	110	22.82%	193	40.04%	158	32.78%
		計	35	3.90%	185	20.62%	393	43.81%	285	31.77%
28	周りの人の評価	男	10	2.40%	44	10.58%	199	47.84%	163	39.18%
		女	4	0.83%	39	8.09%	223	46.27%	216	44.81%
		計	14	1.56%	83	9.24%	422	46.99%	379	42.20%
29	両親の喜び	男	7	1.68%	33	7.93%	201	48.32%	175	42.07%
		女	7	1.45%	54	11.20%	200	41.49%	221	45.85%
		計	14	1.56%	87	9.69%	401	44.65%	396	44.10%
30	他人からの評価	男	10	2.42%	49	11.86%	194	46.97%	160	38.74%
		女	8	1.67%	72	15.00%	211	43.96%	189	39.38%
		計	18	2.02%	121	13.55%	405	45.35%	349	39.08%